



2016年5月15日
第586号

1部10円(組合員は組合費を含む)
郵便振替00960-7-117274

Tel (06)4793-0633 Fax(06)4793-0644 E-mail: info@ewaosaka.org http://www.ewaosaka.org

発行 大阪教育合同労働組合
Education Workers and Amalgamated Union Osaka(EWA)
発行人 大橋 裕子
連絡先 大阪市中央区北浜東1-17 8F

第87回中之島メーデー開催 非正規労働者の均等待遇を実現しよう!!

5月1日、晴れ渡る晴天のなか、第87回中之島メーデーが開かれました。

今年は日曜日ということもあり、いつも増して多くの



組合員、労働者と家族たちが参加し、活気のあるメーデーとなりました。会場には熊本地方を襲った大地震への支援を訴えるカンパ要請なども並びました。

恒例となった全日建・連帯ユニオンの関生太鼓がオープニングを飾り、その後、登壇者たちから安倍政権がすすめる「戦争ができる国」、労働法改悪、憲法改悪に対抗するため、私たち労働者が最前線でたたかっていく必要性が訴えられました。また、中盤にはまーちゃんバンドのライブがあり、自然と命の大切さから沖縄の基地問題が訴えられました。



意を力強く表明しました。

Solidarity is forever!

集会後は西梅田まで、非正規労働者の均等待遇の実現、最低賃金1500円、原発廃炉などを訴えたデモを行い、その後は恒例のピアホールでの交流会で、労働者の親睦を深めあいました。

Viva May Day!

酒井さとえ(書記長)

たたかいは今から!

組合からは、この間の大阪府・市とのたたかいへの数々の支援に対する感謝と勝利報告、そして、私たちのたたかいは終わったわけではなく、ここ大阪で、負の「橋下遺産」とたたかい続ける多くの仲間たちとさらに連帯していく決

憲法をこわすな! 戦争法を廃止へ! 平和といのちと人権を!

5. 3おおさか絵がかり集会

日本国憲法が施行されてから69年目の今年5月3日、立憲主義・民主主義・平和主義が危機にさらされるなかで、かつてないほど大規模な憲法集会が全国各地で開かれました。

大阪では扇町公園に約2万人(主催者発表)が結集し、私たちの組合からも多数参加しました。辺野古などで反基地運動の支援を続けている川口真由美さんの歌、大阪弁護士会会長の挨拶に続いて、民



集会開始前、増田執行委員らが「沖縄 今こそ立ち上がろう」などを演奏し会場を盛り上げた

進党、共産党、社民党、生活の党と山本太郎となかまたちからの発言がありました。ど

の党からも、参院選に向けて、改憲を目指す勢力に対する野党の共闘をさらにすすめていくことが確認されました。

その後、舞台にあがった、SEALDs KANSAI、安保法案に反対するママの会大阪、TnsSOWL Westの高校生などからの発言も会場をおおいに沸かせました。学者の会、宗教者の会などからのアピールの後、3コースに分かれてのデモをしました。

ロックアクションで出会う

メンバー、グループZAZAのメンバー、他組合の元同僚、今まであまり話をしたことのなかった職場の同僚など、たくさんの闘う人たちと共に行動できたことが、これからの活動のおおきな励みになりました。 増田俊道(執行委員)



第28回定期大会 5月28日(土)14時~@エルおおさか708

教育現場の労働者が 誰でも入れる みんなでつくる教育合同

府立高校非常勤講師 超過勤務問題 **超過分の賃金を全額支給!!** 1コマ年間35時間を越えた分の賃金は支払わせましょう!

組合への相談から

昨年の年度末、府立高校に勤務する非常勤講師から賃金について相談がありました。

「2月に年間35時間分を超過するが、授業やテストの採点、成績処理などが残っている」ということでした。高校支部執行部は、非常勤講師の賃金は勤務実績に応じて支払われるので、働いた時間分そのまま出勤簿に押印することをアドバイスしました。

支払いがあるかどうか危惧しましたが、22時間の超過分も含め全額支給されました。これは、教育合同吹田支部が

2011年度に同様の取り組みを行った成果でもあります。

生活できない非常勤講師賃金

非常勤講師の賃金は2009年度から、当月17日支給の「定額月額報酬」から翌月10日後払いの「実績給」になりました。授業が極端に少ない7月や8月の翌月は収入がほとんどありません。年収レベルでも約20%下げられました。

予算として授業1コマにつき年間35時間分（授業の法定時数）が措置されています。非常に機械的な算出をしていますが、授業準備なしで授業

をして、終われば即退勤などあり得ません。教材研究、授業後の片付け、提出物の点検、出席管理、試験作成、採点、成績処理なども必須業務です（芸術科等一人教科の場合は、部屋の管理や予算も）。

サービス残業の温床、

社会へも波及

管理職によっては、年間35時間以上の出勤簿への押印を抑制しようとする傾向があります。しかし、年度末の採点や成績処理等はしないわけにはいかないので、無報酬になってしまいます。これは典型的な「サービス残業」です。

今問題になっているブラッ

クバイトの「個別指導学習塾」では、授業以外の打ち合わせ、報告書作成に賃金が支払われていません。労働法制を守るべき大阪府「教育庁」が、このような違法行為を行っていたら、民間の教育産業がそのまねをするのは眼にみえています。

また、働く者の権利や労働法の軽視は社会全般に波及していきます。安心して暮らせない社会に生徒たちを送り出すこととなります。

教育合同は、非常勤講師、期限付き講師、非常勤職員など非正規雇用の問題に今後も取り組んでいきます。

田中浩昭(高校支部)

文化おちこち

(163)

メーデー誕生の地シカゴから

【教職員組合のストに連帯する市民】



レイバーノーツ大会初日の4月1日、早朝6時半からChicago Teachers Union (以下、CTU)のストライキに参加した。

州知事が、「公務員の賃金をカットしないのなら州予算を通さない」と言って今年度予算の執行をボイコット。州政府から公立学校の運営費がおりてこないため、学校が閉鎖されたり、教員が受け取るべき年金が未払いになっている状況に怒りの声を上げたCTUの組合員たちがストライキに突入した。(因みに、公務員のスト権については州法で決められており、シカゴがあるイリノイ州は認められている)

Roosevelt High Schoolで行われたストライキに参加。この日は、CTUのストライキに連帯し、FF15(最賃15\$運動)のメンバーもストライキに突入した。学校前で行われる集会には、生徒や保護者、地域住民の姿があっ

た。「We stand with the teachers」と書かれたプラカードを持つ生徒の姿に胸が熱くなった。クラクションを鳴らし応援するドライバーも数多くいた。

その後、近所のマクドナルドに移動し、FF15のストライキ集会を行った。なぜFF15のメンバーが、CTUのストライキに連帯するのか。ファストフード店で働く労働者の多くは、黒人やヒスパニックの若者や女性。私立学校に通う経済的余裕のない子どもたちにとって公教育はかけがえのない学びの場だ。このように、CTUの闘いに自らの接点を見いだした個人・労働組合によって、今回のCTUのストライキは大きな運動へと発展した。

午後から、シカゴ中心地にあるトンブソンセンターで集会とデモが開催され、3万人が結集した。あまりの人の多さに全く身動きが取れない。雨が降る中、シカゴの目抜き通りを歩くデモは、長く長く続いた。橋下徹による公務員バッシングと闘ってきた大阪の公立学校の教職員たちにこそ、この感動的な光景に立ち合って欲しかった。(Camellia)



大学非常勤講師は組合に加入を!

早期の相談が解決の道を開く

新年度から私学・大学に勤務する組合員からの相談が相次いでいます。例年、私学・大学関連の団交が集中するのは、次年度の契約更新が具体的になる秋以降でしたが、問題の発生が早期化・多様化してきています。

昨年度、関西学院大学社会学部が、次年度からのカリキュラム変更を理由に、英語の非常勤講師の公募を行いました。長年に渡り雇用してきた非常勤講師に対しても、「継続雇用を望むのであれば、公募に応募するように」と通知しました。団交によって、組合員は公募に応募せず、それまでの担当コマ数を維持することが出来ましたが、カリキュラムが完全に切り替わる2017年度には、非常勤講師を刷新する方針は変わっていません。

これと同じように、カリキュラム変更や、学生数減に伴う授業内容の見直しを理由に、非常勤講師の雇用が危険にさらされています。学生数の減少が激しい帝塚山学院では、英語の非常勤講師の担当は2コマに限定するという新ルールを、労働者や組合に一切告知せず今年度から実施。また英語の非常勤講師は、全て大手語学学校に委託するという方針を打ち出している大学もあります。

少子化の中、小さな大学は生き残りをかけ厳しい状況です。非常勤講師のみならず、何かあってから労働組合に駆け込む前に、将来に起こりうる危険を今から意識し、労働組合に加入しましょう。早めの相談が、解決の道を開きます。大樽裕子(執行委員長)



経済白書に「もはや戦後ではない」と記されて今年で60年では「戦後」ではなく何になったのか? それを「戦前」

「戦中」と言う人もいる この60年間、絶えず日本は対米従属でその戦争を支援してきた。したがって、正確には「もはや戦後ではなく、銃後である」